

## 「IL DEVU」美しいハーモニー



IL DEVUのみなさんには、歌を歌うときに大切にしていることをうかがいました。みなさんきいている人のことを考えていて、歌詞の意味や感謝の気持ちなどを伝えることだとおっしゃいました。歌で気持ちを伝えられるのはすごいことだなと思いました。(小6/H・I)



舞台上で熱唱するIL DEVUのメンバー—毎日新聞社提供

## スポーツと音楽の祭典

「JOCオリンピック教室校外編」IL DEVU&オリンピックスポーツと音楽の祭典が7月27日、文京シビックホール大ホールで行われました。私たち子ども記者はその祭典の取材をしました。体重90kg以上の大きな男性5人によるポールグループ「IL DEVU」の歌、オリンピック教室、東京2020大会を目指すフェンシングの選手の実演を見ました。(小5/N・M)

# 全力、友情 そして感謝



フェンシングの実演をする東莉央選手(左)と東晟良選手。後方はIL DEVUの(左から)大槻孝志さん、河原忠之さん、望月哲也さん、山下浩司さん、青山貴さん—毎日新聞社提供

## オリンピックは大切な文化

本番では、IL DEVUのみなさんのえんそうがとてもすてきでした。

子ども記者は、ぶたいにも登だし、オリンピックの伊藤華英さん、大山加奈さん、小塚崇彦さん、高平慎士さんの4人から、オリンピックの授業をうけました。

私たちが選手にしようしたり、自分の意見を発表するときは、私は自分のしょうらいの夢について発表しました。きんちょううしたけど、発表した後は発表してよかったなと思いました。

司会の小塚さんは、フレンドシップ、エクスレンス、リスペクトが大切だと言っていました。フレンドシップは理解し合い、

仲間になること。エクセレンスは、ベストをつくし、がんばる心。リスペクトはフェアプレー精神、感謝する心だそうです。私は、オリンピックはとても大切な文化なんだなあと感じました。

ベストをつくしががんばる「エクセレンス」、友情を表す「フレンドシップ」、感謝する心「リスペクト」を学び、私はこれから、「リスペクト」を特に大切にしていきたいです。今回、オリンピックの備わりが分かり、興味を持ちました。いろんな選手の方が活やくできるように、応えんしたいです。今回のきちょうな体験は私の頭のアルバムの一つとなりました。

フェンシングの東莉央選手と東晟良選手はぶたいで、ルールを教えてください、実際の競技の様子を見せてくれました。はく力がありません。(小5/E・S、N・M)

## △△フェンシングを実演



取材の後、東晟良選手(左端)と東莉央選手(右端)と記念撮影をする子ども記者

## 勝つために考えすぎず集中

フェンシング・フルーレの東莉央選手と東晟良選手に取材をしました。2人がフェンシングを始めたきっかけは、お母さんがフェンシングをしていたからです。フェンシングをしていて楽しいと感じることは、試合で勝った時や、海外へ行けること。

勝つために心がけていることは、考えすぎないことや、集中することだそうです。選手2人とあくしゅもしました。うれしかったです。私たちは、このイベントを通して、自分もオリンピックに出たいと思いました。(小5/E・S、小6/M・M)